

# 横浜の食育と横浜市栄養教諭・学校栄養職員研究会の役割

## 学校における食育の目標

- ①食事の重要性②心身の健康③食品を選ぶ力④感謝の心⑤社会性⑥食文化

## 横浜市の食育目標

- ・学校での活動を通じて、食の大切さを知り、食の自己管理ができる子どもを育てる。子ども一人ひとりに必要な支援をする。
- ・子どもを通じて、あるいは直接働きかけて、豊かな食体験を提供できるよう家庭・地域との連携を図る。

横浜市の教育目標

**たくましく生きる子ども**

《横浜市栄養教諭・学校栄養職員研究会が食を通して育てたい横浜の子ども像》

食や命の大切さに気づき、生涯にわたり自ら健康的な生活をおくることができる子ども



食育の推進

ネットワークの構築 《食のコーディネーター》 ネットワークの構築

**栄養教諭**

社会のニーズに対応した  
知識・技術・経験

**学校栄養職員**

**連携**

社会  
地域  
家庭

**協業**

幼稚園・保育園  
小学校・中学校  
高等学校  
特別支援学校  
その他関係機関  
教職員

啓発

指導

発信

- 学校における食育の充実 (栄養・衛生・食文化)
- 安全で安心な給食の提供
- 幼保小中高のネットワークの確立
- 食育に関する便りの作成・配布

食育の課題1  
**食の知識の不足**

- 生きた教材となる献立の作成  
・生活科、総合学習、社会科、理科との連携
- 家庭科(調理実習)の充実
- 地場産物を使った学校独自献立の作成  
・給食を通したはま菜ちゃんのPR
- 季節感のある給食献立作成

食育の課題2  
**食の体験の不足**

- 毎日の給食時間の給食指導 (食事のマナー 作法など)
- 米飯給食を通して、米を中心とした和食の推進
- 食糧自給率への関心の意欲づけ
- 食環境の充実
- 環境教育(ごみリサイクル)の推進

食育の課題3  
**食のコミュニケーションや話し合いの不足**

- 生活習慣病の予防
- 個別指導・カウンセリングの充実 (小食・偏食・摂食障害・肥満傾向児・るいそう児・食物アレルギー児)
- 朝ごはん欠食率を下げる取組

食育の課題4  
**日常生活での食習慣の不足**

横 浜 の 食 育 の 課 題